

# 景況調査（第106回 企業経営者の景気見通し）

## 三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2022年度下期実績見込み・2023年度上期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内及び愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。

### [目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
①業況判断（四半期）について	24
②仕入れの状況について	25
③消費意識・消費行動の変化について	27
IV. 生の声	29

## [調査の概要]

- 調査対象：
  - ①三重県内の事業所 1,034 先 (回答 434 先/回答率 42.0%)
  - ②愛知県内の事業所 429 先 (回答 92 先/回答率 21.4%)
 (合計調査対象数 1,463 先 (回答 526 先/回答率 36.0%))
- 調査時期： 2023 年 1 月中旬～ 1 月下旬
- 調査対象期間： 2022 年度下期 (22 年 10 月～23 年 3 月) 実績見込み (文中表記「今期」)  
2023 年度上期 (23 年 4 月～9 月) 見通し (文中表記「来期」)
- 調査方法： アンケート票送付及びwebアンケート
- 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		434	100.0%	92	100.0%	526	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	52	12.0%	11	12.0%	63	12.0%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	382	88.0%	81	88.0%	463	88.0%
業種別	製造業	184	42.4%	35	38.0%	219	41.6%
	食料品(飲料含む)	26	6.0%	4	4.3%	30	5.7%
	繊維	4	0.9%	0	0.0%	4	0.8%
	印刷	7	1.6%	2	2.2%	9	1.7%
	石油・化学	15	3.5%	2	2.2%	17	3.2%
	窯業・土石	11	2.5%	1	1.1%	12	2.3%
	一般機器	34	7.8%	4	4.3%	38	7.2%
	電気機器	22	5.1%	2	2.2%	24	4.6%
	輸送用機器	31	7.1%	8	8.7%	39	7.4%
	その他製造	34	7.8%	12	13.0%	46	8.7%
	非製造業	232	53.5%	57	62.0%	289	54.9%
	建設	66	15.2%	20	21.7%	86	16.3%
	不動産	9	2.1%	6	6.5%	15	2.9%
	卸売	29	6.7%	10	10.9%	39	7.4%
	小売	39	9.0%	8	8.7%	47	8.9%
	運輸・倉庫	27	6.2%	4	4.3%	31	5.9%
	観光・宿泊	17	3.9%	0	0.0%	17	3.2%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	45	10.4%	9	9.8%	54	10.3%
	地場産業	18	4.1%	-	-	18	3.4%
製材	7	1.6%	-	-	7	1.3%	
真珠養殖	1	0.2%	-	-	1	0.2%	
真珠加工販売	4	0.9%	-	-	4	0.8%	
銑鉄鋳物製造	0	0.0%	-	-	0	0.0%	
萬古焼製造	2	0.5%	-	-	2	0.4%	
萬古焼卸売	4	0.9%	-	-	4	0.8%	
地域別	北勢	178	41.0%	-	-	178	33.8%
	中勢	123	28.3%	-	-	123	23.4%
	南勢	65	15.0%	-	-	65	12.4%
	伊賀	39	9.0%	-	-	39	7.4%
	東紀州	29	6.7%	-	-	29	5.5%
	愛知県	-	-	92	100.0%	92	17.5%

## 6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

## 【調査結果の要旨】

## 業況判断BSIは3期ぶりプラスで業況感やや上昇、来期もプラスを維持。

## 【概況】

三重県内の企業の業況判断 BSI は、2022 年度下期は+0.9 となり、22 年度上期 (△3.3) および前回調査時点における見通し (△5.2) を上回り、3 期ぶりのプラスに転じた。23 年度上期は+0.5 となり、ほぼ横ばいでプラスを維持する見通し。

業種別にみると、製造業は、今期△7.7 でマイナス幅は縮小し改善、来期は+0.5 とプラスに転じる見通し。非製造業は、今期+7.4 と 2 期連続のプラスでプラス幅拡大、来期は+2.2 とやや縮小もプラスが続く見通し。特に、観光・宿泊は行動制限の緩和や観光需要喚起策などを背景に需要が回復、業況判断 BSI は今期・来期とも最大のプラスとなった (地場産業除く)。

また、売上高 BSIは、製造業、非製造業ともに今期は 2 桁プラスとなり、増収傾向にある。

一方、仕入価格の上昇が続く中、採算 BSIは悪化傾向にある。「経営上の問題」では、「原材料高」が 2 期連続 1 位で最大の懸念事項となっている。製造業では 7 割強、非製造業では 4 割強の企業が問題とし、特に製造業で影響が大きい。

ただ、仕入価格上昇分の 7 割以上を価格転嫁できている企業は、全体で約 6 割と、22 年 1 月時点の約 4 割、7 月の約 5 割から上昇し、製造業、非製造業ともに転嫁は徐々に進んでいる。また、部品不足など「仕入れ難」となっている企業は、22 年 7 月の 51.0%から、23 年 1 月は 38.1%に低下し、供給制約の影響が緩和しつつあることがうかがえる。

設備投資意欲は上向いている。設備投資を実施する企業割合 (投資額 500 万円以上) は、今期 47.2%となり、コロナ感染拡大前の 19 年度下期を上回った前期 (45.7%) をさらに上回る水準となった。来期は 50.6%と、5 割を超える見通し。

人員不足感は、業況の持ち直しとともに再び強まっている。特に非製造業では「不足・やや不足」が約 7 割に上り、人手不足には、増員や労働条件改善などによる「採用強化」で対応する企業が多い。賃上げ率は、回答平均で 2.69%となり、前年 (2.15%) を大きく上回る水準となった。

BSI		2022 年度 上期 (前期)	2022 年度 下期 (今期)	2023 年度 上期見通し (来期)
業況判断 BSI	今期プラスに転じ、来期もプラスを維持	△ 3.3	0.9	0.5
大・中堅企業	今期マイナスに転じるも、来期は 0.0 に改善	0.0	△3.8	0.0
中小企業	今期プラスに転じ、来期もプラスを維持	△ 3.7	1.6	0.5
売上高 BSI	今期大幅プラスに、来期もプラスで推移	8.3	19.9	8.4
販売数量 BSI	今期プラスに転じ、来期もプラスを維持	△ 0.4	4.4	1.4
在庫量 BSI	今期プラス幅やや縮小、来期も縮小	6.1	4.2	0.5
販売価格 BSI	今期プラス幅拡大、来期は縮小	37.7	41.9	34.6
仕入価格 BSI	今期プラス幅約 80 で高止まり、来期は縮小	80.6	79.8	69.4
採算 BSI	今期 2 桁マイナスで、来期もほぼ横ばい	△ 15.4	△17.6	△16.5
資金繰り BSI	今期マイナス幅拡大、来期もほぼ横ばい	△ 0.9	△8.1	△9.6
設備過不足感	不足感ほぼ横ばい	9.9	10.7	—
設備投資実施割合	今期上昇し、コロナ禍前水準も上回る	45.7%	47.2%	50.6%
雇用過不足感	不足感再び強まる	44.9	51.5	—

(※) 過不足感は「不足」－「過剰」。「不足」は「不足」＋「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」＋「やや過剰」の割合。

## 1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

**業況判断BSIは今期3期ぶりのプラスに。来期もプラスを維持。**

### ◆全企業

業況判断 BSI は、2022 年度下期（以下、今期）は+0.9 となり、22 年度上期（以下、前期）（△3.3）および今期見通し（△5.2）を上回り、3 期ぶりのプラスに転じた。

23 年度上期（以下、来期）は+0.5 となり、ほぼ横ばいでプラスを維持する見通し。

### ◆業種別 …製造業は、今期マイナスながらも改善、来期はプラスに。

**非製造業は、今期・来期ともプラスで推移。**

※ 今期BSIのプラス幅の大きい業種順に記載。

### ◇製造業 …今期（△7.7）はマイナス幅縮小、来期（+0.5）はプラスに転じる。

- 【石油・化学】 今期4期連続の2桁プラス。来期も2桁プラス。価格転嫁進み、売上高BSIは大幅プラス。値上げ一巡。円高、原料相場は前期より低下し安定。
- 【食料品】 今期プラスに転じ、来期は2桁プラスに。価格転嫁進み、売上高BSIは大幅プラス。観光需要や外食需要等が回復。
- 【電気機器】 前期に続き、今期・来期とも0.0で推移。販売数量やや増加も仕入れ難。
- 【その他製造】 今期マイナス幅は縮小、来期はやや拡大。受注残でフル稼働。価格転嫁で販売価格が安定。
- 【一般機器】 今期マイナス幅は拡大、来期は0.0に改善。今期は材料不足。鋼材や電気部品など値上がり。
- 【輸送用機器】 今期・来期ともマイナス幅は縮小。生産調整していた自動車で増産体制。受注増の内示。来期、半導体不足の緩和期待。電気自動車の開発加速。
- 【窯業・土石】 今期マイナス幅はやや縮小、来期は2桁プラスに。受注・生産が回復。
- 【繊維】 今期・来期とも大幅マイナスも、マイナス幅は縮小。
- 【印刷】 今期大幅マイナスに転じるも、来期はマイナス幅縮小。

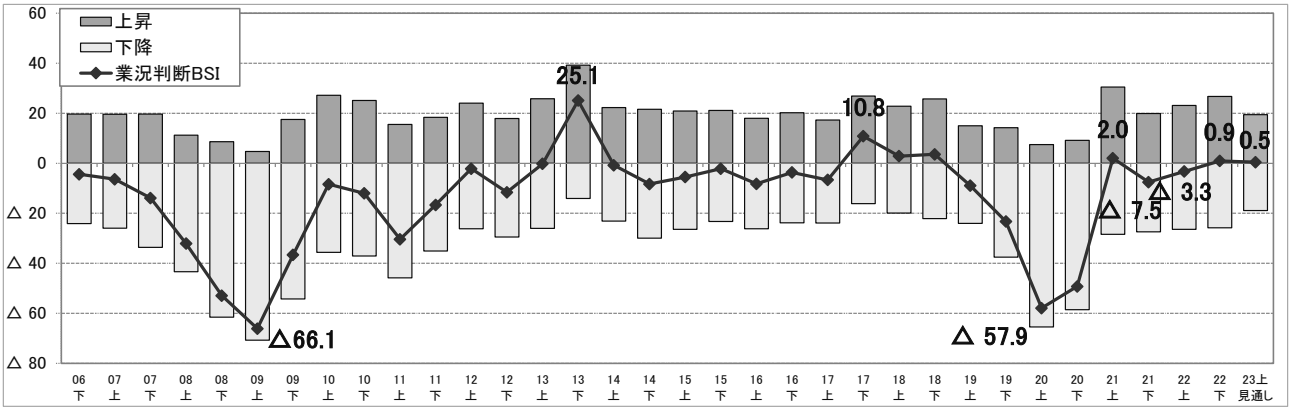
### ◇非製造業 …今期（+7.4）は2期連続プラスでプラス幅拡大、来期（+2.2）もプラスを維持。

- 【観光・宿泊】 前期に続き、今期・来期ともプラス幅は最大（+88.2→+52.9、地場産業除く）。行動制限なく旅行需要回復。全国旅行支援の延長等、国や自治体の施策。宿泊施設、レジャー施設、温泉、土産物関連、ゴルフ場など好調。
- 【サービス】 今期4期連続のプラス。来期2桁プラス。飲食店、喫茶店、宅配ピザ、クレジット、自動車部品梱包、ビルメンテナンス、建材レンタル、情報通信等で堅調。
- 【卸売】 今期はプラスに転じるも、来期は若干のマイナス。
- 【小売】 今期は0.0に改善。来期はプラスに。自動車需要は好調、生産回復で納期遅延の解消が徐々に進む。行動制限緩和で外出関連の需要増加。
- 【不動産】 今期は0.0に改善。来期も横ばい。
- 【運輸・倉庫】 今期は0.0に改善。来期はマイナスに。行動制限緩和で旅客需要増加。荷主の生産増。倉庫需要増。「7割以上価格転嫁できている」13%で最低。
- 【建設】 今期マイナスでほぼ横ばい。来期はマイナス幅拡大。

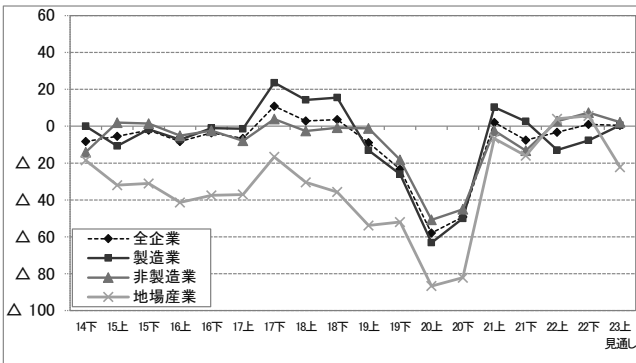
### ◇地場産業 …今期（+5.6）は2期連続プラス、来期（△22.2）はマイナスに。

I. 三重県

■業況判断BSIの推移



■業況判断BSI（業種3区分別）



■業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		(前回調査時点)										
		18下	19上	19下	20上	20下	21上	21下	22上	22下 (見通し)	23上 (見通し)	
規模別	全企業	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	△ 5.2	0.9	0.5
	大・中堅企業	6.1	△ 6.3	△ 23.8	△ 66.7	△ 47.2	35.3	△ 4.0	0.0	0.0	△ 3.8	0.0
	中小企業	3.2	△ 9.3	△ 23.2	△ 56.6	△ 49.5	△ 2.3	△ 8.0	△ 3.7	△ 6.0	1.6	0.5
業種別	製造業	15.5	△ 13.1	△ 26.0	△ 63.2	△ 50.0	10.3	2.6	△ 12.9	△ 12.4	△ 7.7	0.5
	食料品	△ 2.7	0.0	△ 24.1	△ 37.8	△ 40.0	△ 21.4	△ 18.5	△ 4.0	△ 12.0	3.8	15.4
	繊維	11.1	△ 12.5	△ 50.0	△ 87.5	△ 75.0	62.5	△ 16.7	△ 75.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0
	印刷	△ 50.0	△ 10.0	△ 33.3	△ 62.5	△ 88.9	10.0	△ 14.3	16.7	△ 16.7	△ 50.0	△ 28.6
	石油・化学	35.3	△ 14.3	△ 40.0	△ 64.7	△ 61.5	10.0	44.4	25.0	8.3	20.0	13.3
	窯業・土石	13.3	△ 7.1	△ 14.3	△ 57.1	△ 38.5	△ 9.1	10.0	△ 21.4	△ 28.6	△ 18.2	27.3
	一般機器	△ 5.6	△ 40.0	△ 23.8	△ 64.0	△ 71.4	22.2	△ 5.6	△ 7.1	△ 3.6	△ 14.7	0.0
	電気機器	7.7	△ 6.7	△ 11.8	△ 85.7	△ 37.5	7.1	6.7	0.0	△ 4.5	0.0	0.0
	輸送用機器	13.3	△ 23.3	△ 39.1	△ 81.5	△ 38.5	41.2	8.7	△ 42.9	△ 7.1	△ 16.7	△ 6.5
	その他製造	47.6	△ 10.6	△ 20.9	△ 62.5	△ 48.9	△ 6.3	10.5	△ 15.4	△ 23.1	△ 2.9	△ 8.8
	大・中堅企業	8.8	△ 3.1	△ 38.2	△ 74.2	△ 46.2	50.0	4.5	△ 11.5	△ 7.7	△ 3.8	0.0
	中小企業	17.0	△ 15.2	△ 23.1	△ 61.0	△ 50.7	3.5	2.3	△ 13.2	△ 13.2	△ 8.3	0.6
	非製造業	△ 0.8	△ 1.2	△ 18.3	△ 50.8	△ 45.1	△ 2.4	△ 13.2	2.7	1.6	7.4	2.2
	建設	3.5	1.2	△ 12.5	△ 23.0	△ 34.7	△ 11.1	△ 16.9	△ 7.7	△ 12.3	△ 6.1	△ 15.2
	不動産	0.0	△ 6.7	△ 15.4	△ 54.5	△ 53.8	△ 44.4	△ 20.0	△ 11.1	△ 11.1	0.0	0.0
	卸売	10.3	△ 6.3	△ 18.5	△ 63.3	△ 56.0	△ 4.2	△ 7.7	0.0	△ 9.7	7.1	△ 3.6
	小売	△ 14.3	△ 2.9	△ 48.5	△ 56.1	△ 21.4	2.6	△ 48.6	△ 17.1	0.0	0.0	7.7
運輸・倉庫	8.3	3.7	△ 24.1	△ 76.0	△ 73.3	3.0	△ 11.1	△ 23.3	△ 20.0	0.0	△ 11.1	
観光・宿泊	△ 13.6	21.4	10.0	△ 100.0	△ 78.3	9.1	△ 8.3	64.3	42.9	88.2	52.9	
サービス	△ 5.8	△ 8.7	△ 14.9	△ 40.7	△ 39.6	6.0	15.6	17.3	19.2	8.9	15.6	
大・中堅企業	3.1	△ 6.7	△ 3.6	△ 59.4	△ 48.1	22.2	△ 10.7	9.7	6.5	△ 3.8	0.0	
中小企業	△ 1.4	△ 0.5	△ 20.2	△ 49.6	△ 44.7	△ 5.4	△ 13.6	1.8	0.9	8.8	2.4	
地場産業	△ 35.7	△ 53.8	△ 52.0	△ 86.7	△ 82.1	△ 6.7	△ 16.0	4.0	△ 24.0	5.6	△ 22.2	
製材	0.0	△ 66.7	△ 50.0	△ 57.1	△ 33.3	25.0	28.6	12.5	△ 50.0	△ 28.6	△ 42.9	
真珠養殖	—	—	100.0	—	—	△ 100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
真珠加工販売	△ 60.0	△ 25.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 50.0	25.0	△ 25.0	
銑鉄鋳物	50.0	0.0	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	—	—	
萬古焼製造	△ 20.0	△ 60.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 40.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
萬古焼卸売	△ 77.8	△ 75.0	△ 75.0	△ 88.9	△ 90.0	△ 36.4	△ 37.5	14.3	△ 28.6	25.0	△ 25.0	

※地場産業と繊維、印刷、不動産はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

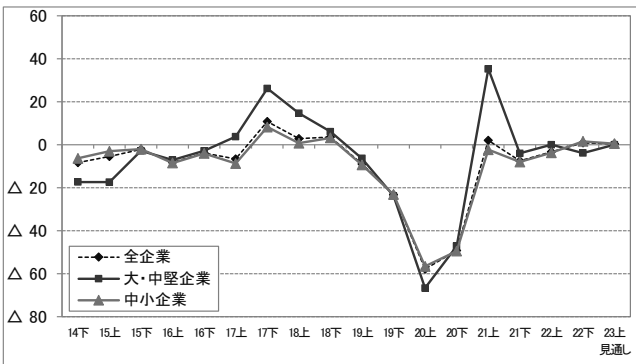
◆企業規模別 …中小企業は、今期プラスに転じ、来期もプラスに。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、中小企業は、今期・来期ともわずかながらプラスで推移する見通し。

製造業では、今期は、大・中堅企業、中小企業ともにマイナスながらもマイナス幅は縮小、来期は、大・中堅企業は 0.0 に、中小企業はわずかながらプラスとなり上向く見通し。

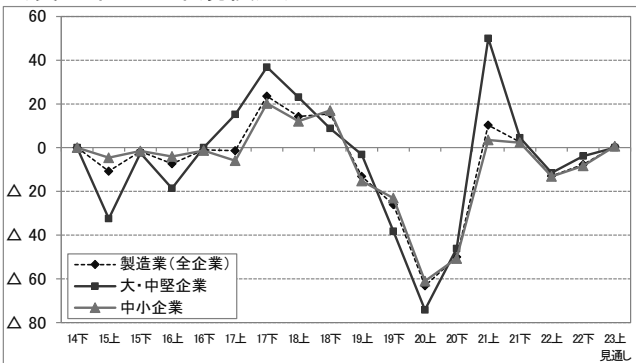
非製造業では、大・中堅企業は今期マイナスに転じるものの、来期は 0.0 に改善。中小企業は今期プラス幅が拡大し、来期はやや縮小するもプラスで推移する見通し。

■業況判断 B S I (企業規模別)

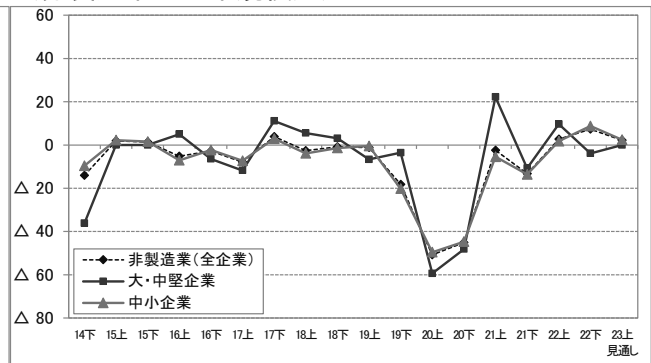


※左図のデータには、地場産業を含む

(製造業・企業規模別)



(非製造業・企業規模別)



◆地域別 …南勢地域は観光・宿泊の影響で今期・来期とも 2 桁プラス。北勢もプラスに。

業況判断 BSI を地域別にみると、南勢地域は、今期 2 期連続の 2 桁プラスで、来期も 2 桁プラスが続く見通し。南勢地域は、今期・来期とも最大のプラスとなった観光・宿泊の割合が高いことが影響。北勢地域も、今期・来期ともプラスとなり、堅調な石油・化学やサービスの割合が高いことが影響した。東紀州地域は、今期・来期とも 2 桁マイナスで、マイナスが続く建設の影響が大きい。

■業況判断 B S I (地域別) の推移

	(前回調査時点)										
	18下	19上	19下	20上	20下	21上	21下	22上	22下 (見通し)	22下	23上 (見通し)
全地域	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	△ 5.2	0.9	0.5
北勢地域	8.4	△ 12.0	△ 33.3	△ 63.6	△ 55.8	4.7	△ 5.7	△ 0.5	△ 2.7	2.3	3.4
中勢地域	2.7	△ 6.5	△ 15.9	△ 61.4	△ 42.0	15.5	△ 6.1	△ 7.0	△ 6.2	△ 1.6	△ 4.9
南勢地域	△ 13.5	△ 4.9	△ 11.1	△ 66.2	△ 62.7	△ 16.7	△ 13.1	16.2	2.7	23.4	20.3
伊賀地域	13.3	△ 8.1	△ 21.3	△ 40.4	△ 41.7	△ 5.0	0.0	△ 28.2	△ 15.4	△ 7.9	△ 12.8
東紀州地域	3.1	△ 6.7	△ 14.3	△ 17.6	△ 19.4	△ 11.1	△ 18.8	△ 20.0	△ 23.3	△ 34.5	△ 20.7